

表4-5 継続監視調査の結果

(平成25年3月31日現在)

地区名	汚染物質 (環境基準)	汚染発見 年月	24年度 調査結果		これまでの調査による濃度変化		
			年平均値	基準 適合	最高検出 濃度 A(mg/L)	最高濃度検出 井戸での最近 2年間平均値 B(mg/L)	B/A ×100 (%)
1 福井市麻生津	砒素 <sup>注2</sup> (0.01mg/L)	16年 6月	0.054	×	0.054	0.039	—
2 越前市塚町・三ツ屋		12年 6月	0.018	×	0.031	0.017	—
3 若狭町東部		9年12月	0.16	×	0.16	0.15	—
4 高浜町薬部		2年11月	0.022	×	0.039	0.022	—
5 越前市長尾町・戸谷町		12年 6月	0.012	×	0.014	0.009	—
6 小浜市駿前町 <sup>注1</sup>	1,2-ジクロロエチレン (0.04mg/L)	20年3月	0.008	○	0.026 <sup>注3</sup>	0.007	27
7 福井市石橋町 <sup>注1</sup>	トリクロロエチレン (0.03mg/L)	10年 9月	<0.002	○	0.017	0.003	18
8 越前市吉野		1年11月	0.044	×	0.11	0.049	45
9 越前市大虫		2年 2月	0.024	○	0.12	0.024	20
10 越前市米口町		10年 9月	0.026	○	0.17	0.023	14
11 鮎江市豊		2年 6月	0.030	○	0.064	0.031	48
12 鮎江市神明南部		4年 5月	0.13	×	0.37	0.13	35
13 鮎江市立待南部		7年10月	0.017	○	0.054	0.016	30
14 鮎江市立待北部		8年 5月	0.027	○	0.12	0.029	24
15 鮎江市上河内町		8年 6月	0.005	○	0.31	0.005	2
16 鮎江市立待西部		8年10月	0.032	×	0.16	0.031	19
17 越前町小曾原北部 <sup>注1</sup>		10年 9月	<0.002	○	<0.002	<0.002	—
18 福井市新田塚 <sup>注1</sup>	テトラクロロエチレン (0.01mg/L)	19年11月	0.0007	○	0.049	0.0019	4
19 福井市美山町		19年 4月	0.010	○	0.019	0.0085	45
20 敦賀市布田町		11年 5月	0.0069	○	0.021	0.0076	36
21 越前市北府		1年11月	0.011	×	0.030	0.014	47
22 大野市新町		1年12月	0.0068	○	0.065	0.0065	10
23 鮎江市本町		5年 4月	0.012	×	0.38	0.011	3
24 永平寺町牧福島		4年 5月	<0.0005	○	0.087	<0.0005	—
25 高浜町立石	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素(10mg/L)	15年 5月	7.6	○	48	14	29
26 福井市蒲生		15年 5月	2.2	○	11	— <sup>注4</sup>	—
27 鮎江市水落	六価鉛(0.05mg/L)	12年 8月	0.17	×	0.54	0.18	33
	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素(10mg/L)	15年 5月	7.5	○	28	7.8	28
28 高浜町東三松	砒素 <sup>注2</sup> (0.01mg/L)	12年 6月	0.007	○	0.032	0.007	—
	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素(10mg/L)	12年 8月	10.0	○	51	14	27
29 鮎江市立待東部	1,1-ジクロロエチレン(0.1mg/L)	7年12月	0.023	○	0.13	0.023	18
	トリクロロエチレン (0.03mg/L)		0.005	○	0.099	0.005	5
30 越前市王子保	1,2-ジクロロエチレン (0.04mg/L)	6年11月	0.041	×	0.097 <sup>注3</sup>	0.041	42
	トリクロロエチレン (0.03mg/L)	2年 7月	0.003	○	0.11	0.003	3
31 越前市家久町	砒素 <sup>注2</sup> (0.01mg/L)	19年 4月	0.008	○	0.018	0.008	44
	総水銀(0.0005mg/L)		0.019	×	0.033	0.019	58
	ベンゼン(0.01mg/L)		0.051	×	0.11	0.069	63
	塩化ビニルモノマー(0.002mg/L)	21年12月	0.0069	×	0.032	0.0073	23
	1,4-ジオキサン(0.05mg/L)		<0.005	○	0.009	0.007	78
32 鮎江市筋生田町	1,2-ジクロロエチレン (0.04mg/L)	11年10月	0.012	○	0.073 <sup>注3</sup>	0.013	18
	トリクロロエチレン (0.03mg/L)		0.010	○	0.11	0.013	12
33 越前町小曾原南部	1,2-ジクロロエチレン (0.04mg/L)	24年3月	0.13	×	0.13	— <sup>注4</sup>	—
	トリクロロエチレン (0.03mg/L)	10年9月	4.7	×	4.7	— <sup>注4</sup>	—

注1 環境基準の超過が、1井戸に限定された地区。

(資料:環境政策課)

注2 砒素による地下水汚染の原因は、いずれも自然由来と考えられます。

注3 1,2-ジクロロエチレンは、平成21年以前に測定を実施したものについては、シス体のみの値を記載しています。

注4 平成24年度から地区内で調査井戸を変更しているため、2年間の実績がない。